

平成15年5月9日

淀川水系流域委員会

委員長 芦田 和男 様

上野市きじが台自治会
会 長 嶋 澤



上野市ハイツ芭蕉自治会
会 長 樋 口



川上ダムの早期実現を求める要望書

私たちは、三重県上野市の水道未普及地域の自治会長です。

現在、生活用水は団地開発時に設置された、専用水道を使用しております。

平成15年4月末現在の居住者は、きじが台では327世帯895人、ハイツ芭蕉では129世帯392人と増えておりますが、地下水の枯渇・低位化からの断水等もあり安定・安全給水に、不安を感じる毎日であります。

しかし、上野市はこの状況に理解いただくものの、水源に余裕がありません。

一方、上野市を含む伊賀の6市町村が、将来の水需要を踏まえ三重県に水源確保をお願いする中、県は平成10年から木津川上流の青山町に建設中の川上ダムを補給水源とする「伊賀水道用水供給事業」（平成10年から30年）に着手、現在水道管敷設工事等を進めていただいております。

また、上野市は第8次拡張事業（平成12年から25年）の中に、この県営伊賀水道用水を水源にして、きじが台及びハイツ芭蕉地域の上水道化を組み入れ、水道未普及地に住む我々は、上水道の来るのを一日千秋の思いで待ちながら、現在に至っております。

然るに、川上ダムの完成が遅れると仄聞し心配していたところ、淀川水系流域委員会では、「計画、工事中のものを含め淀川水系の5ダムは原則として建設しないものとする」中間とりまとめをされました。

何卒、委員の皆様におかれては、川上ダムの完成を待っている、地域住民の心情をご理解いただき、安全で安心な上水道利用が一日も早く出来るよう、川上ダムの早期実現に格別のご高配を賜りますよう要望申し上げます。